

説明会での質問やご意見

※紙面の都合上、いただいたご意見については概要を記載しております。ご容赦ください。



●橋梁の位置について

- ・以前より要望していた位置であり、賛成。そのまま進めてほしい。
- ・以前からしっかり調査をしてくれれば、という思いはあるが、位置には賛成。
- ・足（ゲタ）のある橋にすることで、護岸自体をなくすことはできないか。
→回答）非常に長い橋梁となり、駐車場や芝生広場への影響が大きいため困難です。
- ・さらに公園敷地を広げ、そこに橋をかけることで、現在の公園内への影響は無くなるのではないか。
→回答）時間や予算に与える影響が大きく困難です。橋をつくるまでに何年かかるか不透明で、その間に現在の木橋が落ちる可能性があります。



●工事について

- ・木橋の近くに小さな滝があり、魚が好んで集まっている。酸素を供給できる場所になっていると予想しており、同様の環境を保てないか検討してほしい。
- ・川床の素材などは、生物の好むものにしてほしい。
- ・西岡公園より下流にもトンボ等の生息域が広がっている。工事によって、下流の生態系にも影響が出るのではないか。
→回答）工事の際は、土砂留などを設けて工事を行う予定で、下流への土砂の流出などを極力抑える手法をとります。



●今後の検討について

- ・橋の位置が変わることで、昨年提示されたバス用駐車場の変更が必要になるのではないか。
- ・バス用駐車場があることで、インバウンドの来園などに繋がるのではないかと心配。無くしてほしい。
→回答）市としては、公園はあらゆる人が分け隔てなく利用できる方向で検討したい思いがあります。一方、橋の位置を変更することで、駐車場自体の変更も必ず必要となるので、来年度以降検討をしてまいります。
- ・橋の素材や具体の工事、設計について、今後も協議する場や説明会を要望する。
- ・工事業者にもこの場所の特徴や想いを伝える場がほしい。
- ・市と公園管理者、活動団体等をつなぎ、公園の課題について検討する場である「西岡自然パネル」の周知方法や開催方法、枠組みなどについては、今後市で検討が必要である。
→回答）橋梁や広場については説明会を実施しながら設計を進めます。西岡自然パネルの周知方法や開催方法、枠組み等についても今後検討をしてまいります。



●その他

- ・（木橋上流にある）ハツ橋も手すりもなく危険。安心安全な公園として、対処すべきである。
→回答）今回業務の対象である橋以外の公園施設については、必要に応じて今後検討してまいります。

【問合せ先】

説明会や橋に関すること

- ・（発注者）札幌市建設局みどりの推進部みどりの推進課 菅野 TEL：011-211-2525
- ・（委託先）北海道造園設計株式会社 佐藤、恩田 TEL：011-758-2261

西岡自然パネルに関すること

- ・西岡公園管理事務所 中林 TEL：011-582-0050
- ・豊平区土木部維持管理課 坂本 TEL：011-851-1681



西岡公園グリーンレター3月号

西岡公園再整備計画

説明会開催結果のお知らせ

札幌市では、令和4年度（2022年度）より、西岡公園の豊かな自然を残しながら、誰もが安心安全に利用できるように、再整備の検討を進めてきました。

水源地の下流部にある「駐車場」周辺と、「芝生広場」の整備について検討し、その2つをつなぐ「新しい橋」について西岡自然パネル（※）や説明会の開催を通して、皆様のご意見を伺いながら進めていたところです。

しかし、令和5年度の説明会において、「新しい橋」の設置位置や工法について、現在の自然環境や生息する生物に与える影響が大きいとの声をいただいたことから、橋梁の計画を見直し、下記のとおり新たな計画に関する説明会を開催いたしましたので、ご報告いたします。



※「西岡自然パネル」とは

西岡公園の維持管理について、行政と市民がともに話合う場です。主に、西岡公園で活動する団体やボランティア、周辺町内会、有識者等で構成されていますが、公開で実施されており（コロナ禍の時期を除く）、誰でも参加や発言をすることができます。

【西岡公園再整備計画についての説明会を開催しました】

2月22日（土）、午前10時から、約1時間30分にわたり説明会を行いました。20名の方にご参加いただき、たくさんの貴重なご意見をいただきました。説明会の詳細については見開きページ及び最終ページをご覧ください。



説明会の様子

西岡公園 「新しい橋」の方向性について

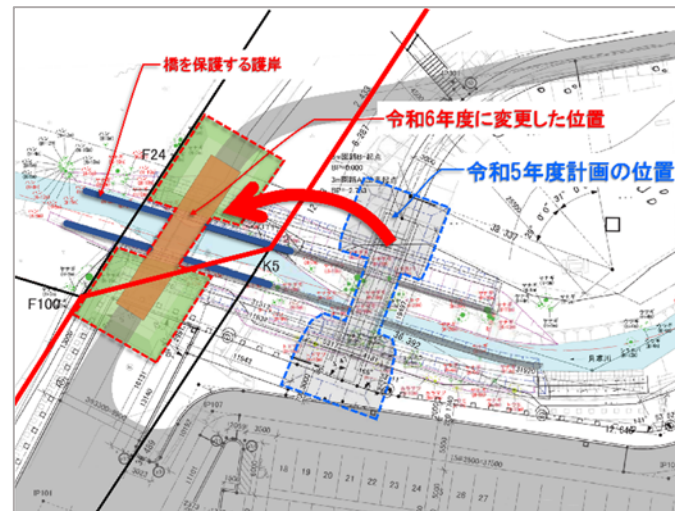
昨年度提示した計画では、護岸を総延長約 50mにわたって行う必要があり、自然環境や生息する生物に与える影響が大きいとの声をいただきました。
今年度、西岡公園で活動する各団体の代表等にご意見を伺ったところ、計画していた橋梁の位置では課題は解決できないと判断し、昨年度計画から大きく方向性を見直し、下記のとおり変更いたしました。

■ 新しい橋を、現在の木橋の位置にします。

- 現在の木橋は八紘学園の所有物で、公園敷地（下図「土地の状況」赤色部）の外にあります。
 - 橋のかかっている土地を調査したところ、「国有未開地」という所有者の存在しない土地であることがわかりました。（下図「土地の状況」の「道」部分）
 - 今後、様々な手続きを経て、国有未開地を札幌市で取得し、公園敷地を拡大します。
 - 土地取得後、現在の木橋と同じ位置に新たな「橋」をかけます。橋の位置変更により、護岸は上流下流に約 10mずつと短縮される見込みです。（下図「橋梁計画位置」）
- ただし、今後の詳細設計及び河川管理者との協議により変更となる可能性があります。



土地の状況



橋梁計画位置

■ 護岸をより自然になじむ素材で、河川管理者との協議を進めます。

- 昨年度提案のコンクリート素材の護岸から、自然石を活用した素材で河川管理者と協議を進めます。
- 石の間に隙間があり、植物が育つことができるほか、生物の住処にもなり得ます。
- 見た目もより自然に馴染み、景観への影響を抑えます。



＜令和5年度計画＞
コンクリート素材



＜新計画＞自然石素材

■ 多くの樹木を残すことができます。

- 現在の木橋の位置に橋をかけることで、昨年度計画と比べ、多くの樹木を残すことができるようになります。特に、ヤチダモや貴重な樹木であるシロヤナギの大木を残すことができる見込みです。
- 樹木を残すことで、川に木陰が落ち、生物にとっても棲みよい環境を維持することができます。



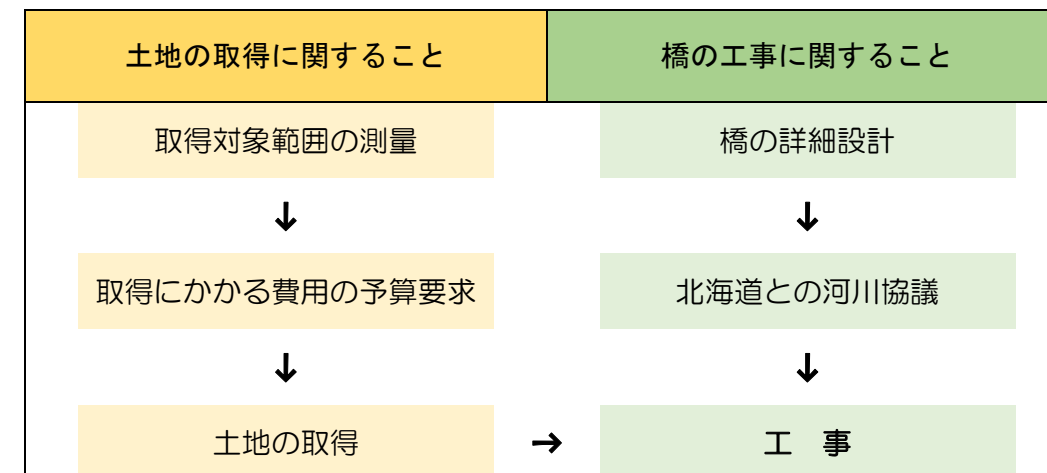
＜令和5年度計画＞河川周辺樹木のイメージ



＜新計画＞河川周辺樹木のイメージ

■ 以下の手続きを経て、橋をつくっていきます。

- 新しい橋梁を架けるにあたっては、大きく「土地の取得」と「橋の工事」が必要になります。
- 以下の手続きを経て、西岡公園に新たな橋が架かります。



※ この間、随時説明会等を開催し、情報共有及び意見交換の場をもうけていきます。